

学校だより

頸城

令和3年5月21日 No. 2

上越市立頸城中学校

〒942-0164 頸城区 潟口 60

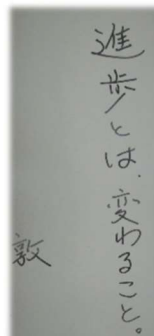
TEL530-2405 FAX530-2014

学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

優しく温かな思いやりのある行動や心づかい

一昨年度は「**凡事徹底**」、昨年度は「**思いやり**」を合い言葉に全校生徒が様々な活動に取り組み、着々と成果を上げてきています。

今年度はさらに上を目指し、「**前へ**」を合い言葉にしています。現状に満足することなく今の自分や仲間がさらに向上していく、今までやっていたことに一工夫をして成長していく。そんな姿が校内や家庭でも様々な場面で見られるようになると、一層素晴らしい学校になっていくと思っています。「前へ」はあくまで「凡事徹底」「思いやり」が土台となって出来上がっていくものです。そこで今一度、あえて「思いやり」について考えてみたいと思います。



5/20 校長メッセージ

「心はだれにも見えないけれど 心づかいは見える 思いは見えないけれど 思いやりはだれにでも見える」

この詩を覚えている保護者や地域の皆様も多いと思います。2011年（平成23年）の3月11日に発生した東日本大震災では、地震や津波などによって東日本の広い地域にとっても大きな被害がありました。そのとき、民放テレビでは、被害を受けた人々のことを考えて、テレビ番組の間に入れるコマーシャルを中止しました。そのため、コマーシャルの代わりに「ACジャパン」という団体がつくった映像が繰り返し流されました。

この詩と合わせて流された映像では、電車の中で座席に座っていた男子学生が、電車に乗ってきたお腹の大きな女性に席を譲ろうかどうか迷う場面があり、結局、違う席に座っていた若い女性が席を譲りました。そして、その次の場面では、長い石の階段をたいへんそうに上がっていくおばあさんを見たその男子学生が、一度通り過ぎた後に戻ってきて、そのおばあさんに手を貸す姿がありました。

実は、この詩は、宮澤章二さんという作詞家の方がつくった詩「行為の意味」をもとにつくられたものだそうです。

この詩の中で宮澤さんは、心づかひや思いやりが見える理由を「人に対する積極的な行為だから」と言っています。そして、この詩はこんなふうに結ばれています。

「温かい心が 温かい行為になり 優しい思いが 優しい行為になるとき
心も思いも初めて美しく生きる それが人として生きることだ」

電車の中で席を譲れなかったあの男子学生のように、たとえ思いやりの心や気持ちをもっていたとしても、それを行動として示さなければ、そのような思いや気持ちをもっているとはだれも思いません。反対に、優しく温かな思いやりのある行動や心づかひは、だれにでもすぐに分かります。だから、人を思いやるその優しい心や気持ちを、勇気をもって積極的に行動として表すことが大切なのです。そして、そのようにふるまうことが、人としてのとても大切な生き方でもあるのです。

お互いに思いやりの気持ちにあふれた学校や社会をつくりだすためにも、皆さん一人ひとりが、思いやりの心や気持ちを積極的に行動として表してほしいと思っています。「**思いやり**」の言動を様々な場面で示すことが「**前へ**」に進むことになるのではないのでしょうか。そんな姿を今年度、たくさん見せてほしいと願っています。

学校運営協議会開催～お忙しい中、ありがとうございました～

5月7日（金）に、第1回目の学校運営協議会を開催しました。その後、学区4小学校との合同学校運営協議会も行いました。上越市では、平成24年度から、地域とともに学校づくりを進める「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を、全市立小中学校で展開しています。地域の皆様から学校運営に参画していただくことで、学校と地域の信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や子どもの健全育成に取り組むことが目的です。今年度の学校運営協議会委員の方々は以下の皆様です（敬称略）。よろしくお願いします。



委員の皆様からは、感染症対策や今年度から始まるGIGAスクールなどについてご質問をいただき、学校の対応について説明しました。いつも、学校の教育活動に協力していただき、大変ありがたく思っております。コロナ禍の中、活動が制限されることもありますが、生徒にとっては大切な1年です。委員の皆様からご意見をいただきながら、教育活動の充実に努めてまいります。

令和3年度 学校運営協議会委員

会 長 市川 康男 《ユートピアくびきスポーツクラブ理事・事務局長》

副会長 大越さとみ 《読み聞かせサークルワンダーランド会長》

委 員 秋山 玲子 《主任児童委員》

今井 一郎 《上越地区スポーツ推進委員協議会会長》

河瀬 哲也 《PTA 会長》

下関 順一 《元 PTA 会長》

惣塚 弘 《青少年育成会議コーディネーター》

橋本 春美 《PTA 1 学年部長》

福島奈美 《PTA 副会長》

藤澤明彦 《元 PTA 会長》

松村かずみ 《青少年育成会議副会長》

望月 博 《後援会長》

第1回生徒総会 ～生徒会活動も「前へ」～

5月12日（水）の5・6限に、第1回生徒総会が行われました。今年度の生徒会スローガンは、「信～笑顔の輪を広げよう 新たなステージへ～」です。スローガンには、「信頼」・「信用」・「信念」の3つの意味が込められており、「信じる心を大切に、信頼される学校になっていこう！」という強い決意が込められています。強調して取り組むこととして、次の4項目が生徒会総務から示されました。

- ①球技大会 ②リーダーによる集会
- ③地域とのつながり ④学校行事の活性化

当日は、生徒会総務や委員長、部長からの説明や各学級からの質問もしっかりと行われ、今年度の活動の方向性が決まりました。コロナ禍の状況下ではありますが、学校生活の充実を図ろうとする気持ちが伝わってくる生徒総会となりました。

